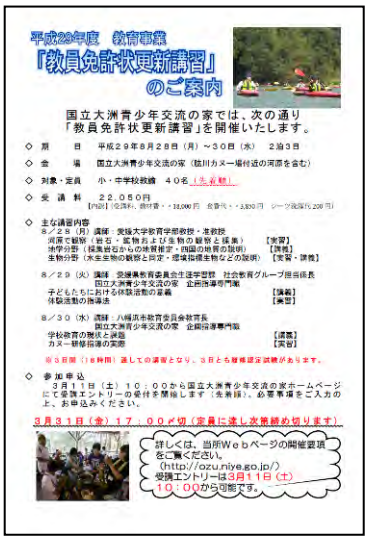
平成２９年度　教育事業（指導者等養成研修事業）

教員免許状更新講習（８年目）


平成29年度　教育事業

『教員免許状更新講習』のご案内

国立大洲青少年交流の家では、次の通り「教員免許状更新講習」を開催いたします。

◇ 期　　日　平成２９年８月２８日（月）～３０日（水）　２泊３日

◇ 会　　場　国立大洲青少年交流の家（肱川カヌー場付近の河原を含む）

◇ 対象・定員　小・中学校教諭　４０名（生活科）

◇ 受 講 料　２２，０５０円

◇ 主な講習内容

８／２８（月）講師：愛媛大学教育学部教授・准教授
河原で観察（岩石・鉱物および生物の観察と採集）　【実習】
地学分野（採集岩石からの地質推定・四国の地質の説明）　【講義】
生物分野（水生生物の観察と同定・環境指標生物などの説明）　【実習・講義】

８／２９（火）講師：愛媛県教育委員会生涯学習室　社会教育グループ担当係長
国立大洲青少年交流の家　企画指導専門職
子どもたちにおける体験活動の意義　【講義】
体験活動の指導法　【実習】

８／３０（水）講師：八幡浜市教育委員会教育長
国立大洲青少年交流の家　企画指導専門職
学校教育の現状と課題　【講義】
カヌー研修指導の実際　【実習】

※３日間（18時間）通しての講習となり、３日とも修得認定試験があります。

◇ 参加申込

３月１１日（土）１０：００から国立大洲青少年交流の家ホームページにて受講エントリーの受付を開始します（先着順）。必要事項をご入力の上、お申込みください。

３月３１日（金）１７：００〆切（定員に達し次第締め切ります）。

詳しくは、当所Webページの開催要項をご覧ください。
（http://ozu.niye.go.jp/）
受講エントリーは3月11日（土）10：00から可能です。

１　事業概要

小学校及び中学校の教諭を対象に、２泊３日の講習を実施した。１日目は肱川河原の岩石や水生生物を教材とした地学及び生物の実習、講義を行った。２日目は野外炊飯やレクリエーションの実習、体験活動の意義に関する講義を行った。３日目は肱川でのカヌー研修後、学校教育の現状と課題について講義を行った。学校現場での学級経営や、教科指導に生かすことのできる体験活動の知識や指導技術を学ぶことができた。

２　事業の目的（ねらい）

地域の自然環境を生かした「生活科」、「理科」、防災や環境をテーマにした「総合的な学習の時間」を指導するための必要な知識・技能を身に付ける。また、自然体験活動の指導技術を身に付け、体験活動の重要性について体感すると共に、学級づくりに役立つ体験学習を活用した指導法について学ぶ。

３　企画・運営のポイント

子どもたちの社会性や豊かな人間性を育むためには、発達段階に応じた体験活動の充実を図る必要がある。そのためには、小・中学校に勤務する教員自らの体験を豊かにするとともに、体験活動に関する基礎的な知識や技能を身に付けることが求められる。当所での実施は８年目となり、実施にあたっては、「実際に体験する」「指導方法を学ぶ」という両面に留意し、活動プログラムを企画・立案した。昨年度から受講時間を１２時間から１８時間に変更したことで、選択領域の全てを本講座で履修できるようにしている。

４　期待される効果

保護者や地域の大人との関わりの少なさ、自然とのふれあいや仲間との交流の少なさといった直接体験の不足は、今日の子どもたちが抱える大きな問題である。子どもたちと毎日関わる小学校及び中学校の教員の方々に、体験活動を中心とした活動プログラムを提供することで、体験活動のよさと効果を実感すると共に、学んだ知識や技術を学校現場で生かしていただくことを期待している。

５　主　　催　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立大洲青少年交流の家

６　期　　日　平成２９年８月２８日（月）～３０日（水）

７　場　　所　国立大洲青少年交流の家（肱川カヌー場付近の河原を含む）

８　対　　象　小・中学校教諭（養護教諭・栄養教諭は除く）（募集人数　先着４０名）

９　参加人数　小・中学校教諭・講師　３９名

１０　講　　師

佐野　　栄　氏（愛媛大学教育学部　教授）
向　　平和　氏（愛媛大学教育学部　准教授）
中尾　治司　氏（愛媛県教育委員会生涯学習課社会教育グループ担当係長）
井上　　靖　氏（八幡浜市教育委員会　教育長）
国立大洲青少年交流の家　企画指導専門職

１１　日　　程

	8:30	9:00	9:30	12:00	13:15	14:30	14:45	16:30	19:00	19:30	22:00	
8/28（月）	受付	開講式	**実習**「河原で観察」2.5h	昼食	**講義**「地学分野」1.25h	休憩	**実習・講義**「生物分野」1.75h	夕べのつどい 夕食 ＯＲ	認定試験	情報交換会	入浴	就寝

	6:30	8:45	9:00	13:00	13:45	15:15	15:30	16:30	19:00	19:30	22:00
8/29（火）	起床	朝のつどい 朝食	事務連絡	**実習**「体験活動の指導法Ⅰ」4.0h	休憩	**講義**「子どもたちにおける体験活動の意義」1.5h	休憩	**実習**「体験活動の指導法Ⅱ」1.0h	夕べのつどい 夕食	認定試験	入浴・休憩	就寝

	6:30	8:45	9:00	12:00	13:30	15:00	15:30	16:00
8/30（水）	起床	朝のつどい 朝食	事務連絡	**実習**「カヌー研修指導の実際」3.0h	昼食	**講義**「学校教育の現状と課題」1.5h	休憩	認定試験	閉講式

１２　活動内容

【１日目】

「河原で観察」「地学分野」「生物分野」

講師：佐野　栄　氏、向　平和　氏

午前中は、大洲大橋下の河原で、岩石及び水生生物に関する実習を行った。参加者は、河原の石から石灰岩を見分ける活動を通して、岩石の種類について学んだ。また、肱川の水生生物を採取し、午後の活動に備えた。

午後は、地学分野と生物分野に関する講義が行われた。地学分野は、「川原の石から大地のつくりを探る」と題した講義が行われ、肱川流域の地質分布や大地の成り立ちについて学んだ。生物分野は、水生生物による環境調査の方法について学び、学校現場での理科学習や環境教育に生かすことのできる講義となった。

【２日目】

「体験活動の指導法Ⅰ・Ⅱ」

講師：国立大洲青少年交流の家職員

野外炊飯場でリスクマネジメントについての実習とカレー作りを行った。実習を通して活動中の安全管理の方法や事故発生時の対応について理解した。

「子どもたちにおける体験活動の意義」

講師：中尾　治司　氏

「子どもの心をはぐくむ体験活動」と題した講義が行われ、無人島体験事業の体験談を通して、体験活動の必要性と教育的意義について学んだ。

【３日目】

「カヌー研修指導の実際」

講師：国立大洲青少年交流の家職員

午前中は、カヌー研修を行い、児童・生徒の視点で体験活動の指導方法や配慮事項について学んだ。

「学校教育の現状と課題」

講師：井上　靖　氏

午後は、学校教育の現状と課題、教育者としてのあり方について、講師の体験談が語られた。参加者が、自身の取組を見つめ直すよい機会となった。

１３　参加者の声

参加者の事後アンケート結果を以下に示す。

＊満足：94.9%　＊やや満足：5.1%　＊やや不満：0.0%　＊不満：0.0%

○　体験を通して、様々なことを学び、気付くことができてよかった。他郡市の先生たちと交流できた。

○　先生方との団結力が生まれた。汗を流しながら、楽しみながら参加することができた。

○　教師自ら体験学習のよさを感じられる機会はなかなかないので、とても貴重だった。

１４　事業の成果

昨年度までは「宿泊」及び「日帰り」を選択可能とした事業であったが、宿泊希望が多いこともあり、今年度は「宿泊」のみの募集で事業を行った。短時間で定員を超える応募があり、事業の認知度の高さが伺えた。事業の満足度も高く、参加者のニーズに沿った活動ができ、評価されたと捉えている。体験活動を講習の柱とした本事業のスタイルを、今後も継続していきたいと思う。

１５　事業の課題

肱川河川敷で実施したカヌー研修、岩石及び水生生物に関する実習は、荒天時やダムの放流等の際は実施困難となる。事業のねらいを踏まえ、講習内容や代替プログラムについて再検討する必要性を感じている。また、次年度は教員免許状更新制が導入されてから１０年目となる。今年度まで積み重ねてきたスタイルを継承し、よりよい事業となるよう改良を重ねていきたいと考えている。

（担当：企画指導専門職　渡邊　勝也）